

Bonjour

ブラッセル日本人学校

平井 久文



Goedendag

ベルギーでの日々

久しぶりの更新ご容赦ください。ベルギーでは冬のどんよりした日々に終わりをづけ、日に日に日没が遅くなっています。3月の最後の日曜日にはサマータイムが始まり、日本との時差も1時間短くなります。編集している今日（3月27日）の日の出が6時30分。日の入りが19時07分となっています（前回も日の出日の入りの時間を記載していますので参考にしてください）。これからもっと日の入りの時間が伸びていくことで、1日を長く感じられるようになっていきます。

さて、今号では派遣先であるベルギー、ブリュッセルでの日々の様子をお伝えしていこうと思います。

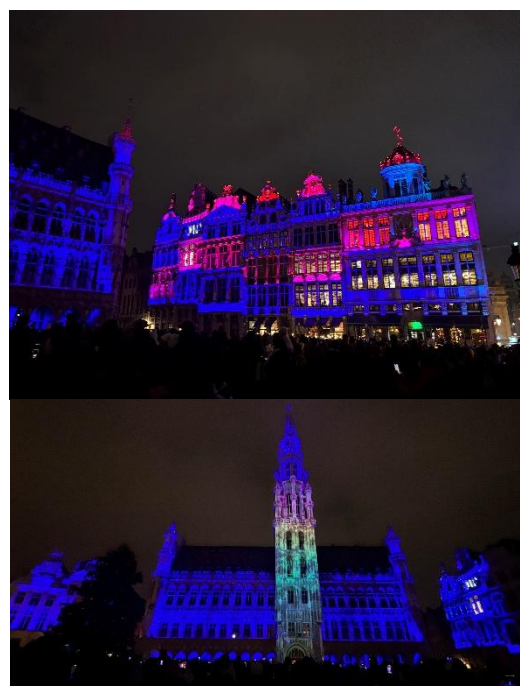
1. 建物(歴史的建築など)

ベルギーには世界遺産がいろいろとあります。その中でも有名なのは、ヴィクトル・ユゴーも称賛したといわれる『グラン＝プラス』です。いつも観光客がたくさんいて賑わっています。また、夜はライトアップ、クリスマスの時期はプロジェクションマッピングなど行われています。町の中心にあるので何度も行っていますが、行く度に感動します。



←この日はビールフェスティバルが行われていました。(ビールについては別途お知らせする予定です。)

プロジェクションマッピングの他にも、巨大なもみの木が広場の中央におかれたりしています。



2. イベント



○マルシェ

ヨーロッパでは、一般的な市場です。曜日によって、開催される場所が決まっていることが多いようです。



日本人が多くする地域のマルシェは、お店の方も日本人の欲しい商品を理解していて、ヨーロッパではあまり見かけない『薄切りの肉』も手に入りました。また、マルシェのよいところは、鮮度の良い食材を購入できたり、食べ歩きしたりしながら雰囲気を楽しめるところです。

○フードフェス

普段は公営の駐車場になっている場所で3・4ヶ月ごとにこのようなイベントがあります。いろいろなお店が出店していて賑わっています。何度か行きましたが、イベントなので金額は結構お高めなんです…。雰囲気だけでも楽しめるので、散歩をしに出かけることも多いです。



○ノーカーデー (Car-Free Sunday)

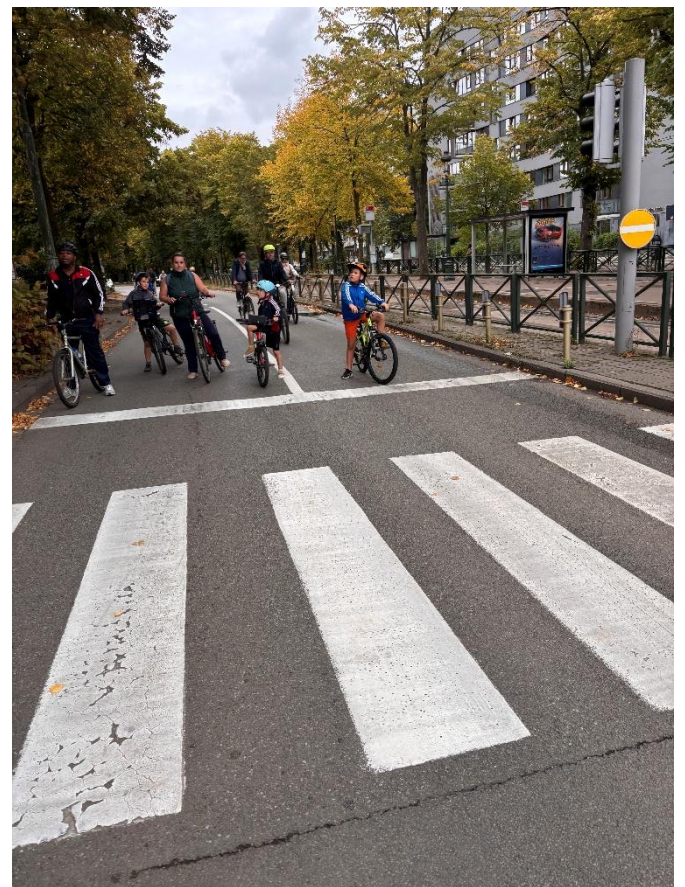
年に一度、9月の欧州モビリティウィークに合わせて、ブリュッセル首都圏地域全域の範囲で行われます。この日は、普段は車で埋め尽くされている幹線道路やトンネルが、歩行者や自転車に開放されます。自由に移動することができ、家族連れが自転車で国道を走ったり、ローラーブレードやスケートボードで大通りを滑ったりしていました。また、公共交通機関(地下鉄(メトロ)、路面電車(トラム)、バス)が無料で開放され、本数も増便されます。この取組は、環境意識の向上や「道路は車のもの」という固定観念を崩し公共スペースを市民が楽しみという都市空間の再認識を目的に行われているそうです。

私も自転車で市内を移動しましたが、普段走ることのできないトンネルの中やランナバウト(環状交差路)を通ってとても楽しかったです。



↑

ランナバウトです。



○終わりに

ベルギーでの生活も2年が終わりました。もう1年過ごせることになったので、悔いの無いよう毎日を過ごそうと思っています。ご協力いただいている皆さまに感謝しています。

次号も気長にお待ちいただけると幸いです。ではまた。